

別府史談 第二十九号

(非売品)

発行人 別府史談会

会長 友永 植

☎〇九七七一七二一〇四四八

編集 別府史談会事務局(会誌担当)

連絡先 伊藤 貞行

別府市馬場四組一

☎〇九七七一二一六三九一

発行年月 平成二十八年三月

印刷所 別府市亀川東町四番二〇号

株式会社クリエイツ

☎〇九七七一六六一三六七六

編集後記

本年は、三〇周年記念誌の編纂と重なりましたが、会員、執筆者の皆様のご協力により、『別府史談』二十九号を予定通り発刊できました。

論説は六編で、葎屋ものがたりは、地方の経済を左右するほどの大家、荒金家の史料が失われている中での、栄枯盛衰の歴史です。また、中須賀元町界限の歴史探訪は、中須賀元町自治会長の小嶋智憲氏よりの寄稿で、中須賀の歴史と文化をまとめた『中須賀元町四〇周年記念誌』の抜粋です。なお、小嶋氏は、「後藤重巳先生を偲んで」の一文も寄せて頂きました。元副総理重光葵外相と別府博は、貴重な外交資料がこの別府の地で、重光葵外相のご厚意で展示された事実を、田吹繁子と短歌は、歌人としての業績と県内にある歌碑についての調査を、竹と食文化は、別府の名産である竹の飲食用具への利用についての研究です。そして、明治二十二年代「浜脇村」受払仕訳書は、明治中期以前の浜脇村の乏しい史料の掘り起こしと研究に、今後も期待したいと思います。そして、元会員の中島春生氏より「戦後七〇年の思い出―軍艦旗を仰いで―」を寄稿して頂きました。講演会講師論稿では、記念講演の「大分県のキリシタン墓地―石造墓碑と墓地遺跡を中心に―」は、講師の別府大学田中裕介教授に内容をまとめていただきました。春季講演会では三人の方が発表され、その内容を掲載しています。市内・外の史跡探訪レポート及び感想文は、都合により参加できなかった方は、是非参考にしてください。

(会誌担当)

『別府史談』原稿募集について

別府史談会では、会員の皆様の原稿をお待ちしています。積極的に投稿してください。

一、内容 別府市の歴史や民俗に関するもの、及び会員に身近な県内の歴史・民俗に関するもの。人物・事件・歴史体験・民間伝承伝説・昔話・里うた・民間信仰・神社仏閣・仏像・石仏（地藏さんなど）の縁起・史資料など。

二、原稿作成について

原稿用紙…自由「なるべく電子情報（CDやメモリーなど）を付けてください」

執筆形式…論説・評論・調査研究・探訪記・体験談・感想文・史料紹介など

許容字数…二万字（原稿用紙換算五十枚）以内
写真図表…挿入は連絡してください。

三、応募並びに原稿締め切り

原稿は、〒874-0838 別府市荘園三組三

TEL・FAX 097712211018

山添 博司までご提出ください。

締切は十月末を目途にして下さい。